



「窓開けて窓いっぱいの春」

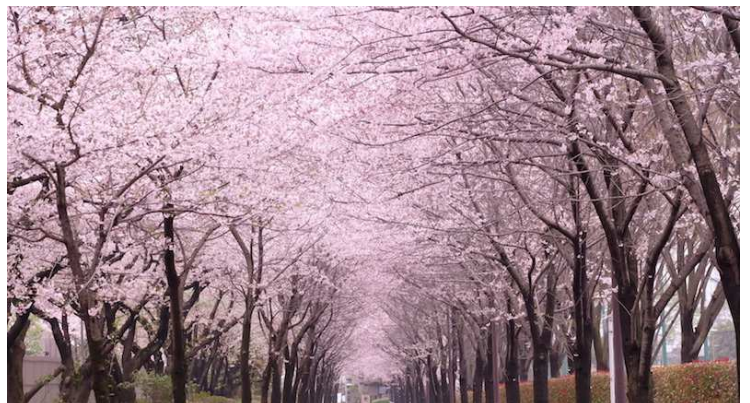
校長 栗林 正和

郷土の詩人・種田山頭火の句です。放浪詩人・自由律俳句で知られる山頭火も、実は本校（県立山口尋常中学）卒業生の一人です。

通信制課程では、4月15日に123名の新入生を迎え、前期入学式を終えました。入学された皆さんに心からお祝いを申し上げます。通信制課程で学ばれる皆さんは、夢を叶えるために自らの意志で本校を選び、意欲をもって勉学を続けようとされています。私たち教職員も、皆さん一人ひとりの夢の実現のために、精一杯応援してまいりますので、ぜひ初志貫徹してください。

皆さんが、これからの高校生活を、方向性をもって、ぶれずに前に進んでいくためには、つねに「何のために」というのを意識することが大切だと思います。そのうえで、具体的な目標を設定し、達成に向けて日々努力することを心掛けてください。

十里の旅の第一歩
百里の旅の第一歩
同じ一歩でも覚悟がちがう
三笠山にのぼる第一歩
富士山にのぼる第一歩
同じ一歩でも覚悟がちがう
どこまで行くつもりか
どこまで登るつもりか
目標がその日その日を支配する



後藤静香（ごとう・せいこう）という人の「第一歩」という詩です。横浜高校野球部のグラウンド脇にこの詩を刻んだ石碑があります。

この言葉は、横浜高校を何度も甲子園に導き、全国制覇を果たした渡辺・元監督の座右の銘です。松坂投手など横浜高校出身の多くの選手も、その影響を受けて自らの座右の銘にしているそうです。座右の銘というのは、自分の人生の方向性を狂わさない、いわば羅針盤の役割も果たしてくれます。何かあったときに思い返すだけで力が湧いてきます。夢や目的・目標について思い、考えを巡らすとき、自らの座右の銘あるいは好きな言葉を探し、そして出会うといいと思います。

「あせらず やすまず あきらめず」は、本校通信制のスローガンです。通信制で学ぶ上で大切なことが、この短いフレーズに凝縮されています。皆さんには、山口高校通信制生徒としての誇りと自覚を胸に、様々なことにベストを尽くすとともに、将来に向けて自らの可能性を开花させようと日々努めていただきたいと思います。

この一年が、通信制で学ぶ皆さんにとって最高に充実したものになることを心から願っています。